

平 成 2 2 年 度

事 業 報 告 書

平 成 2 3 年 3 月

公益財団法人 徳川黎明会  
総務部  
徳川美術館  
徳川林政史研究所

## 目次

I. 管理部門	P. 1
II. 公益目的事業	P. 11
III. 収益事業	P. 49

## 特記事項

平成23年3月24日（木）財団法人徳川黎明会は、内閣総理大臣より公益財団法人の認定を受けた。

### I. 管理部門（総務部）

#### [1] 公益法人制度対応について

平成20年12月1日当会は特例民法法人となった。これに対応して当会は公益財団法人を目指すこととした。平成21年度から準備を始め、今年度に入り本格的に申請作業に着手し、11月19日に申請をした。

今年度の申請に至るまでの業務及び経過は次の通りである。

- 平成22年 4月 8日（木） 最初の評議員の選任に関する認可申請書を文部科学大臣宛申請（6月3日認可）
- 同 5月14日（金） 内閣府公益認定等委員会 公益認定窓口相談へ定款等の相談
- 同 6月29日（火） 最初の評議員選定委員会開催・公益財団法人発足時に就任する7名を選出
- 同 9月 6日（月） 豊島税務署へ「公益財団移行に伴う新定款予定条項と租税特別措置法第40条第1項との適合性について」提出→承認
- 同 9月29日（水） 公益法人制度関連臨時評議員会・理事会開催  
定款案決議
- 同 11月19日（金） 内閣府公益認定等委員会へ公益電子申請（添付書類持参）
- 同 12月27日（月） 内閣府公益認定等委員会のヒアリング  
指摘および質問事項説明（回答は23年1月19日迄）
- 平成23年 1月19日（水） 第1回 修正の電子申請
- 同 2月12日（土） 内閣府公益認定等委員会よりの最終調整質問事項受信（回答は2月15日迄）
- 同 2月15日（火） 第2回 修正の電子申請
- 同 3月 4日（金） 内閣府公益認定等委員会にて認定適当の答申
- 同 3月 7日（月） 公益法人informationにて公開
- 同 3月24日（木） 内閣総理大臣よりの公益財団法人認定
- 同 3月25日（金） 特例民法法人下での最終評議員会・理事会開催  
諸規程制定ほか

3月24日の公益認定を受け、4月1日付で公益財団法人の登記をするための手続きを行った。

## [2] 諸規程の整備について

公益法人制度の対応として、公益財団法人用の下記の規定の見直し・整備を行った。

定款

役員及び評議員等の報酬並びに費用等に関する規程

理事の職務権限規定

情報公開規定

会員規則

## [3] コンピューターシステム化の促進

文化財管理システムの更新を各部と協力して行った。

## [4] 財団パンフレットの作成

財団関係資料に基づき、財団のパンフレットを作成した。

## [5] 会計業務手順の見直し

公益法人制度に対応して申請書提出のため、会計基準の見直しをした。

それに伴い科目の変更・新設等をはじめ会計業務の細部の見直しも順次行い体制を整備した。

## [6] 決算監査

平成21年度決算監査が、平成22年5月26日に当会において実施され、その結果適法正確と認められた。

## [7] 理事会・評議員会開催

### 1. 理事会

#### 第1回 ①

- 開催 平成22年5月28日 午前11時 当会に於いて
- 議事 1. 平成21年度事業報告の件  
2. 平成21年度収支決算報告並びに監査報告の件  
3. 任期満了による評議員選出の件
- 結果 1・2 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も賛成を得られたため、両議案とも原案の通り承認可決された。  
3. 現在、評議員は前回改選時から1名減って18名であるが、任期満了により新たに

評議員を選出するにあたり、全員から重任の承諾を得た。また、現監事の田中秀隆氏に新たに評議員就任をお願いし承諾を得た。よってこの19名に評議員を委嘱したいとの提議があり、出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、これを承認可決した。

## 第1回 ②

- 開催 平成22年5月28日 正午 当会に於いて
- 報告 公益法人制度対応の進捗状況について、今年11月に申請を行うことを前提に最初の評議員選定作業に入っていること、定款・規程の整備についても準備を進めていることの報告がなされた。
- 議事 1. 会長・専務理事・常務理事選出の件
- 結果 1. 評議員会において選出された7名の理事（平成22年5月30日付就任）の中から、選挙の結果、次の通り決定した。（欠席者は議決権行使書により参加）
  - 会長理事 徳川義崇
  - 専務理事 近松真知子
  - 常務理事 竹内 誠

## 第2回

- 開催 平成22年9月29日 午前11時15分 当会に於いて
- 議事 1. 定款案審議の件  
2. 商標権譲渡の件
- 結果 1. 公益法人制度改革に伴い、申請にあたり寄附行為に代わる定款案を提出することとなるとの報告の後、進捗状況の報告・資料提示・内容説明がなされ、定款案が示され、審議の結果満場一致をもって原案通り承認し、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、承認可決された。  
なお、本定款案に文字の訂正および内閣府等の指導による修正が発生した場合の対応については、徳川会長に一任することが了承された。
- 2. 現在当会が所有している商標権のうち「徳川博物館」及び「TOKUGAWA GALLERY」の2件について、財団法人水府明徳会から譲渡の申し入れがあったためこれを受諾したいとの提議があり、取得から現在までの経緯の説明と譲渡価格算出の説明がなされた後、依頼した当事者である徳川斉正理事を除いて可否をとったところ、全員原案通り承認し、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、承認可決された。

### 第3回

○開催 平成22年3月25日 午前11時半 当会に於いて

○報告 本年3月7日内閣府公益認定委員会より本会の公益財団法人への移行の答申があり、それに基づき昨日3月24日付で内閣総理大臣名で正式に公益財団法人に認定されたことの報告があった。ついでここに至るまでの経過説明と本年4月1日付登記し公益財団法人として発足すること並びに移行後のスケジュールについて概略の報告がなされた。また、移行に伴う評議員の異動と定款に基づき新たに相談役を設置することについても併せて説明がなされた。

○議事 1. 平成23年度事業計画及び同予算の件

2. 諸規程制定の件

3. 平成23年度役員報酬の件

○結果 1. 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、原案の通り承認可決された。

2. 公益財団移行の認定に伴い規程4件（①「役員及び評議員等の報酬並びに費用等に関する規程」、②「会員規則」、③「理事の職務権限規程」、④「情報公開規程」）を4月1日公益財団法人発足の停止条件つきで制定したい旨の提議があり、細部の説明がなされた後、出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、これを承認可決した。

3. 上記規程①の承認可決により、当該規程が本年4月1日の公益財団発足に伴い有効となることに基づき、同日より該当役員（近松専務理事・竹内常務理事）には兼務する職員としての給与ではなく、役員としての報酬に切り替える。「定款」と規程では、役員の報酬は新公益財団下での評議員会で基準を設定し、その金額の範囲内で支給し、理事会で職務・資格等を勘案して金額を決定することとなっている。本日の理事会は特例民法法人下での理事会であり、拘束力はないものの、新理事会が開催されるまでの間に暫定的に報酬額を決める必要があるとの説明がなされた後、近松専務理事・竹内常務理事には平成22年度の年収を12ヵ月で割った金額を4月より暫定的に月額報酬として支払い、新財団発足後にあらためて審議し決定したい旨の提議があり、出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、これを承認可決した。

## 2. 評議員会

### 第1回 ①

- 開催 平成22年5月28日 午前10時半 当会に於いて
- 議事 1. 平成21年度事業報告の件  
2. 平成21年度決算報告並びに監査報告の件
- 結果 1・2 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、両議案とも原案の通り承認可決された。

### 第1回 ②

- 開催 平成22年5月28日 午前11時半 当会に於いて
- 議事 1. 任期満了による理事・監事選出の件
- 結果 1. まず、現監事のうち田中秀隆氏は先の理事会で新評議員に選出されたため監事は2名となったとの報告があり、理事会において承認可決された新評議員19名に対し、理事及び監事の選出をしたい旨の提議があった。審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、次の通り承認可決された。

#### 理事

徳川義崇（重任）、近松真知子（重任）、竹内 誠（重任）  
近藤道生（重任）、徳川斉正（重任）、中田易直（重任）  
前田利祐（重任） 以上7名（平成22年5月30日就任）

#### 監事

竹田憲央（重任）、松平頼武（重任） 以上2名（平成22年5月30日就任）

### 第1回 ③

- 開催 平成22年5月28日 午後12時半 当会に於いて
- 議事 1. 専務理事・常務理事就任に関し給与年額最高支給額設定の件
- 結果 1. 林政史研究所 竹内 誠 所長の再度の常務理事就任にあたり、当会寄附行為第23条に照らし、給与年額最高支給額を前回同様3,000千円と設定したい。また、当財団総務部長 近松真知子も同様に専務理事に就任するにあたり、これも同条目に照らし給与年額最高支給額を15,000千円と設定したいとの提議があり、審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、原案の通り承認可決された。

## 第2回

- 開催 平成22年9月29日 午後10時半 当会に於いて
- 議事 1. 逝去に伴う理事選出の件  
2. 辞任に伴う監事選出の件  
3. 定款案審議の件
- 結果 1. 本年6月30日に近藤道生理事が逝去されたことに伴い、池田弘一氏（アサヒビール㈱相談役）に本日付で後任の理事就任を依頼したいとの提議があり、審議の結果満場一致をもって原案通り選出することを決し、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、承認可決された。  
2. 公益法人制度改革に伴う異動により竹田憲央監事が監事を辞任したことの説明の後、降旗京二氏（降旗公認会計士事務所所長）に本日付で後任の監事就任を依頼したいとの提議があり、審議の結果満場一致をもって原案通り選出することを決し、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、承認可決された。  
3. 公益法人制度改革に伴い、申請にあたり寄附行為に代わる定款案を提出することとなるとの報告の後、進捗状況の報告・資料提示・内容説明がなされ、定款案が示され、審議の結果満場一致をもって原案通り承認し、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、承認可決された。  
なお、本定款案に文字の訂正および内閣府等の指導による修正が発生した場合の対応については、徳川会長に一任することが了承された。

## 第3回

- 開催 平成23年3月25日 午後10時半 当会に於いて
- 報告 本年3月7日内閣府公益認定委員会より本会の公益財団法人への移行の答申があり、それに基づき昨日3月24日付で内閣総理大臣名で正式に公益財団法人に認定されたことの報告があった。ついでここに至るまでの経過と本年4月1日付登記し公益財団法人として発足すること並びに移行後のスケジュールについて概略の報告がなされた。また、移行に伴う評議員の異動と定款に基づき新たに相談役を設置することについても併せて説明がなされた。
- 議事 1. 平成23年度事業計画及び同予算の件  
2. 諸規程制定の件
- 結果 1. 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、原案の通り承認可決された。  
2. 公益財団移行の認定に伴い規程4件（①「役員及び評議員等の報酬並びに費用等に関する規程」、②「会員規則」、③「理事の職務権限規程」、④「情報公開規程」）



を4月1日公益財団法人発足の停止条件つきで制定したい旨の提議があり、細部の説明がなされた後、出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、これを承認可決した。

## [8] 文部科学省への届出・報告事項

1. 平成22年度科学研究費補助金（特定奨励費）交付請求書を提出した。平成22年4月
2. 最初の評議員の選任に関する認可申請書を提出した。 //
3. 平成21年度事業報告書ならびに決算報告書を提出した。平成22年6月

[ 9 ] 役員及び職員 (平成23年3月31日現在)

1. 役員

理事 計 7名

役名	氏名	職業
会長	徳川 義崇	八雲産業(株)社長・徳川美術館 館長
専務理事	近松真知子	(財) 徳川黎明会 総務部長
常務理事	竹内 誠	東京学芸大学名誉教授・徳川林政史研究所 所長
理事	池田 弘一	アサヒビール(株) 相談役
〃	徳川 斉正	(財)水府明徳会 会長
〃	中田 易直	中央大学 名誉教授
〃	前田 利祐	(財) 前田育徳会 理事長

監事 計 2名

役名	氏名	職業
監事	降旗 京二	降旗公認会計士事務所長
〃	松平 頼武	(学) 本郷学園 理事長

評議員 計19名

役名	氏名	職業
評議員	麻生 太郎	衆議院議員
〃	太田 宏次	(財) 東洋医学研究財団 理事長
〃	海部 俊樹	(財) 中央政策研究所 最高顧問
〃	加戸 守行	愛媛県知事
〃	小林 喬	富国生命保険(相) 相談役
〃	里中 哲朗	
〃	佐藤 豊三	徳川美術館 専門参与
〃	佐野文一郎	(社) 日本工芸会 理事長
〃	田中 秀隆	(財) 三徳庵 専務理事
〃	徳川 義真	
〃	中村 誠治	(株) 北芝建設 相談役
〃	西崎 清久	(学) 共立女子学園 理事
〃	原 俊夫	(財)アルカンシェール美術財団 理事長
〃	濱本 英輔	(株) ロッテ 顧問
〃	林 董一	愛知学院大学 名誉教授
〃	深井 雅海	聖心女子大学 教授・徳川林政史研究所副所長
〃	松平 恒忠	(社) 日本英語交流連盟 会長
〃	深山 明敏	(財) 偕行社 理事
〃	山本 泰一	徳川美術館 名誉副館長・上席参与

役員総計 28名

## 2. 職員

総務部 計 3名 (他に非常勤学芸員 2名)

職 名	職 階	氏 名
兼 部 長	専務理事	近松真知子
課 長・秘書室長 (庶務担当)	主事補	神田 映子
課 長 (会計・経理担当)	〃	田中 博之

徳川美術館 計22名 (他に非常勤研究員 7名(うち1名 役員兼任)、非常勤研究生 1名)

職 名	職 階	氏 名	
兼 館 長	会 長	徳川 義崇	
副 館 長	参事補	四辻 秀紀	
名誉副館長 上席参与 (渉外担当)	嘱 託	山本 泰一	
学 芸 部	部 長	参事補	四辻 秀紀
	主任学芸員	主事補	原 史彦
	係 長	書 記	吉川 美穂
		〃	龍澤 彩
		〃	下畑いつこ
	専門参与	嘱 託	佐藤 豊三
		〃	中嶋 雄彦
企 画 情 報 部	部 長	主 事	小池 富雄
	課 長 (教育普及担当)	主事補	加藤 啓子
		書 記	並木 昌史
		〃	志賀 太郎
		〃	坪井 美幸
業 務 部	部 長	嘱 託	寺島 一夫
	課 長 (管理担当)	主事補	野村 弘和
	課 長 (庶務担当)	〃	長谷 峰生
	係 長	書 記	長沼 英樹
		〃	大田 智恵
		〃	小塚 愛弓
		補 手	間瀬田 憲次
		〃	間瀬田 加代

徳川林政史研究所 計 5名 (他に特任研究員14名、非常勤研究員13名、非常勤研究生13名)

職 名	職 階	氏 名
兼 所 長	常務理事	竹内 誠
副 所 長	嘱 託	深井 雅海
主任研究員	主事補	太田 尚宏
研 究 員	書 記	白根 孝胤
係 長	〃	鶴岡 香織

職員総計 30名(うち3名役員兼任)

※他に 非常勤学芸員 2名、 特任研究員 14名、 非常勤研究員 20名(うち1名 役員兼任)、 非常勤研究生 14名、また、部外の業務・研究協力者を参与に委嘱しており、この人員は美術館 2名・林政史研究所 6名となっている。

## II. 公益目的事業

### 徳川美術館

#### [1] 調査・研究

##### 1. 研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)	
(1) 館蔵品悉皆調査	学 芸 部 共 同	昭和63年	
(2) 尾張徳川家関係寺社蔵品調査	〃	〃 58年	
(3) 徳川美術館蔵仏画の調査研究	名誉副館長	山本泰一	〃 49年
(4) 請来仏画の研究	〃	〃	〃 56年
(5) 『君台観左右帳記』の研究	学芸部・専門参与	佐藤豊三	〃 58年
(6) 茶の湯の名物道具について(名物論) －『玩貨名物記』を中心にして－	〃	〃	〃 63年
(7) 戸山屋敷御成について	〃	〃	平成 3年
(8) 近世名古屋城下における文芸活動 －尾張藩士を中心に－	企画情報部長・学芸員	小池富雄	昭和57年
(9) 幸阿弥派蒔絵の研究	〃	〃	平成元年
(10) 古代・中世の料紙装飾の系譜	副館長・学芸部長	四辻秀紀	昭和60年
(11) 歌絵・物語絵の研究	〃	〃	平成 3年
(12) 近世絵画の研究	学芸部係長・学芸員	吉川美穂	〃 6年
(13) 尾張を中心とする画家の活動について	〃	〃	〃 11年
(14) 松坂屋染織参考館所蔵の衣服調査研究	〃	〃	〃 21年
(15) 尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について	学芸員	並木昌史	〃 8年
(16) 有職装束の研究	〃	〃	〃 8年
(17) 松坂屋染織参考館所蔵の衣服調査研究	〃	〃	〃 21年
(18) 中近世やまと絵の研究	〃	龍澤 彩	〃 13年
(19) 館蔵朝鮮陶磁の調査研究	〃	〃	〃 16年
(20) 東アジア絵画とその影響を受けた日本中近世絵画の研究	〃	志賀太郎	〃 16年
(21) 室町将軍家を中心とする唐物の受容について	〃	〃	〃 20年
(22) 徳川将軍家と尾張家の研究	〃	原 史彦	〃 19年
(23) 長篠・長久手合戦の研究	〃	〃	〃 20年

##### 2. 文部科学省科学研究費補助金による研究

「国宝 初音の調度の総合的研究」	代表 小池富雄	平成19年
------------------	---------	-------

## 〔2〕文化財保存

### 1. 修理

#### 基本美術品

重要文化財 淡浅葱地葵紋付楓重文辻が花小袖、 一領

重要文化財 浅葱地葵紋付扇地紙文辻が花染小袖 一領

(「国宝重要文化財等保存整備費補助金」(国庫補助事業)による修理)

#### 普通美術品

菊折枝蒔絵乗物 担棒 一本

(「第4回徳川美術館拡充整備基金」による修理)

### 2. 購入

#### 普通美術品

貝合わせ図 一幅

名古屋城普請丁場割図 一枚

### 3. 寄贈

#### 普通美術品

蠨螂蒔絵中次 内野薫作	一合	内野 薫氏
紅絹縮地立涌花束文単衣(振袖) 紀伊徳川家伝来	一領	株式会社大丸松坂屋百貨店
水色麻地御所解文帷子(振袖) 紀伊徳川家伝来	一領	〃
紺地葵紋付熨斗目 松浦家伝来	一領	〃
茶麻地葵紋付霞に蔦文辻ヶ花染帷子	一領	株式会社大丸松坂屋百貨店
紅綸子地葵紋付帆掛舟に千鳥文綿入鎧下着	一領	〃
紅地立木瓜紋付花菱に紋散し錦陣羽織	一領	〃
黄地紋漢東織陣羽織	一領	〃
紺地雲龍文蝦夷錦鎧袴	一腰	〃
納戸地向扇文金襴袴	一腰	〃
茶麻地立木瓜紋散し陣羽織	一領	〃
萌黄地立涌文緞子陣羽織	一領	〃
紺羅紗地立木瓜紋付陣羽織	一領	〃
白羅紗地立木瓜紋付陣羽織	一領	〃
紺地木瓜唐草文大和錦鎧直垂(上着)	一領	〃

紺地木瓜入菱襷文大和錦鎧直垂袴	一腰	〃
薄茶地麻の葉亀甲繫文金入錦袴	一腰	〃
茶地菊唐草文緞子袴	一腰	〃
濃紫地紗綾形に龍の丸文緇子袴	一腰	〃
萌黄地桜文緞子鎧下袴	一腰	〃
茶麻地角木瓜紋付直綴	一領	〃
浅葱地菊唐草文緞子直綴	一領	〃
納戸縮緬地綿入鎧下着	一領	〃
白地綿入鎧下 附 木綿襦袢 一	一領	〃
紺地唐組続平緒	一本	〃
下紐(白平絹 二、紅平絹 一、浅葱麻 一)	四本	〃
茶地龍の丸に唐草文銀襷太刀袋	二枚	〃
紺地卍に宝尽文緞子袋	一枚	〃
白地葵紋付幕に桜文小帛紗	一枚	〃
萌黄緇地葵紋付御所解文単衣 将軍家・木戸家伝来	一領	〃

#### 4. 収蔵品の撮影

##### 部 内

- (1) 「殿さまECOを考える」展関係
- (2) 「大名古屋城展」展関係
- (3) 「尾張徳川家の名宝」展関係
- (4) 「尾張徳川家の雛まつり」展関係
- (5) 「高松宮家の至宝」展関係
- (6) 「松坂屋コレクション」展関係
- (7) 新規購入・寄贈、修理後作品撮影
- (8) その他

##### 部 外

- (1) 十象社依頼 (織田信長黒印状)
- (2) 松坂屋美術館依頼 (青磁香炉 銘 千鳥ほか)
- (3) 名古屋城依頼 (大礼之図)
- (4) 淡交社依頼 (唐物茶壺 銘 金花ほか)
- (5) 両口屋依頼 (山芳花薫図三所物)
- (6) 文化庁依頼 (葉月物語絵巻ほか)
- (7) 日銀貨幣博物館依頼 (歌舞伎図巻ほか)

### [3] 教育・普及

#### 1. 定期研究発表会

(内 容)	(年月日)	(講 師)
第57回 尾張徳川家の名宝流失一里帰りの名宝展によせて一	22. 10. 3	山本泰一
第58回 源氏物語絵巻と葉月物語絵巻 二つの物語絵巻	23. 3. 19	四辻秀紀

#### 2. 記念講演会

(演 目)	(年月日)	(講 師)
いけばな・茶花にみる牡丹	22. 4. 10	花人 川瀬敏郎氏
徳川美術館の75年を振り返って 一回顧と展望一	10. 2	館長 徳川義崇

#### 3. 土曜講座「大名の生活と文化」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
藩祖徳川義直を語る	22. 4. 17	竹内 誠
美術工芸品にみる牡丹の意匠	5. 15	龍澤 彩
殿様が目を向けた自然	6. 5	吉川美穂
東照宮祭礼と城下町名古屋	7. 10	桐原千文氏
名古屋城保存の歴史と遺構	9. 11	原 史彦
尾張徳川家名宝の歴史	10. 9	佐藤豊三
千代姫と初音の調度	11. 27	小池富雄
能装束のデザイン	23. 1. 15	並木昌史
雛の文化史	2. 19	四辻秀紀
利休の名言	3. 5	大日本茶道学会副会長 田中仙堂氏



4. 夏期講座「名古屋城」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
ありし日の名古屋城の姿	22. 8. 24	広島大学大学院教授 三浦正幸氏
写された名古屋城-徳川慶勝と写真-	〃	原 史彦
名古屋城本丸御殿の障壁画	8. 25	名古屋城管理事務所学芸員 朝日美砂子氏
名古屋城の儀礼	〃	深井雅海
見学会(名古屋城・清洲城跡・妙興寺・四間道)	8. 26	

5. 能楽講座「尾張徳川家の能『猩々』」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
猩々と酒	22. 4. 24	歌人 馬場あき子氏
よろこびの合唱 祝言の謡を皆さんと	5. 22	シテ方宝生流 辰巳満次郎氏
祝言能(半能)猩々に前シテ登場	6. 19	シテ方観世流 赤松禎英氏
猩々が乱る?舞の秘曲	7. 31	藤田流笛方 藤田六郎兵衛氏

6. 徳川林政史研究所古文書入門講座「江戸時代の古文書を読む」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
幕末・維新の人間模様 -	22. 6. 12	竹内 誠
文久の幕政改革	6. 19	深井雅海
将軍上洛と徳川慶勝(一)	6. 26	白根孝胤
〃 (二)	7. 3	〃
将軍不在の江戸	7. 10	太田尚宏
知られざる十五代徳川茂徳の軌跡	7. 17	藤田英昭

7. 国宝「源氏物語絵巻」現状摸写製作指導(東京芸術大学製作)

8. 古美術相談会

6回開催9件。この他に写真の郵送、来館などにより計18件の古美術相談を行った。

9. 体験講座 -日本の伝統文化にふれる-

團扇	団体	22件	計590名、	個人	計337名
貝あわせ	団体のみ	8件	計171名		

## 10. 名曲講座

(内 容)	(年月日)	(入場者)
(1) 平田尚子 ピアノ・リサイタル ショパンイヤーによせて (中日新聞社共催)	22. 4. 28	100名
(2) マリンバ・クラリネット・ピアノによる華麗なる調べ (中日新聞社共催)	6. 20	180名
(3) 八田智大&リカルド・ガイヤル ピアノ・リサイタル (中日新聞社共催)	8. 1	80名
(4) 森川栄子&廣瀬啓子 デュオ・コンサート (中日新聞社共催)	11. 6	100名
(5) 吉永哲道 ピアノ・リサイタル (中日新聞社共催)	23. 3. 26	50名

## 11. 特別企画

- (1) 端午の節供 特別企画  
親と子の甲冑教室2010  
一般来館者が甲冑や鉄砲に触れる体験コーナーを設置、好評であった。また当日は小中学生入館者無料とした。 7組 のべ来場者 500名 22. 5. 5
- (2) ロビーコンサート 瀬木理央 ヴァイオリンの夕べ 8. 13
- (3) あいち子ども芸術大学2010 「徳川美術館のまんなかで短歌をつくろう」 12. 4
- (4) 「尾張徳川家の雛まつり」記念企画  
オリジナル 香袋・文香をつくる 23. 2. 11
- (5) 「尾張徳川家の雛まつり」記念企画 2. 26  
目で見ると感じる雛まつり 十二単着装公開(2回) 来場者約800名

## 12. 夏期夜間延長開館

22. 8. 13～15

隣接する徳川園が夏期に開館時間を延長するのに合わせ、当館でも上記3日間に限り、開館時間を2時間延長して午後7時まで開館した。

## 13. 賛助会・友の会見学会

- 第44回 五島美術館 国宝 源氏物語絵巻と東京美術館めぐり 22. 11. 4・5
- 第45回 京都国立博物館 「高僧と袈裟」展見学 11. 17

## 14. 学芸員実習 9名

22. 8. 3～ 8. 10

## 15. 特別観覧（敬称略）

（観覧者）	（年月日）	（作品）
（1）高樹経沢ほか1名	22. 5. 22	楼閣人物図堆黒軸箱ほか3件
（2）江村知子	6. 15～18	重文 相応寺屏風
（3）手塚雄二ほか13名	6. 17	国宝 源氏物語絵巻
（4）小池富雄ほか8名	6. 23～24	国宝 初音の調度
（5）河村尚子ほか3名	7. 6	竹一重切枝付花生ほか6件
（6）井上仁倫ほか1名	7. 21	重文 白天目
（7）手塚雄二ほか13名	7. 23	国宝 源氏物語絵巻
（8）鳥飼ゑり子ほか1名	7. 30	唐物茶壺 銘判官 ほか4件
（9）池田 寿ほか1名	7. 29	雲州消息ほか2件
（10）室瀬和美	9. 2	藤重中次
（11）河村尚子ほか3名	9. 7	飛青磁花生ほか6件
（12）手塚雄二ほか13名	10. 7	国宝 源氏物語絵巻
（13）長久智子	10. 28	西洋風景図染付花生・台
（14）江村知子ほか2名	11. 22～27	重文 本多平八郎姿絵屏風ほか1件
（15）室瀬和美氏ほか4名	11. 30	重文 朱漆花鳥七宝繫文密陀絵沈金御供飯ほか3件
（16）瀧川和也ほか1名	11. 30	太刀 銘永仁四年七月日 助光作
（17）伊藤大輔	12. 7	重文 天皇撰関御影
（18）鬼原俊枝	23. 1. 5	重文 葉月物語絵巻
（19）室瀬和美	1. 22	国宝 初音蒔絵調度硯箱
（20）白原由起子	1. 22	春日曼茶羅図ほか3件
（21）上野晶子ほか6名	2. 8	縞小倉羽織
（22）李瓏姫	2. 12	黒漆菊唐草文螺鈿経箱
（23）別府節子	3. 8	手鑑 鳳凰台
（24）室瀬和美	3. 9	重文 朱漆花鳥七宝繫文密陀絵沈金御供飯

## 16. 出講の承認

（主催者）	（演目）	（期間）	（担当）
（1）愛知淑徳大学	美術史	後期	四辻秀紀
（2）南山大学	日本美術史	前期	〃
（3）中京大学	有職故実	集中	〃
（4）名古屋造形芸術大学	東洋美術史	通年	山本泰一
（5）東海学園大学	日本文化特論A	集中	〃

(6)	名古屋芸術大学	日本美術史	通年	佐藤豊三
(7)	愛知県立芸術大学	博物館概論	前期	〃
(8)	名古屋外語大学	文化Ⅰ	前期	小池富雄
(9)	南山大学	博物館学Ⅲ	後期	〃
(10)	名古屋大学	美術史特殊研究	後期	吉川美穂
(11)	名古屋芸術大学	博物館実習Ⅰ・Ⅱ	集中	〃
(12)	椙山女学園大学	博物館実習	〃	〃
(13)	金城学院大学	映像文化論	前期	龍澤 彩
(14)	愛知県立大学	日本美術史	後期	〃
(15)	愛知県立芸術大学	博物館学各論	集中	〃
(16)	名古屋芸術大学	博物館学各論	通年	原 史彦
(17)	名古屋芸術大学	日本美術史	前期	〃
(18)	栄中日文化センター	かな古筆の名品をたずねて	通年	四辻秀紀
(19)	〃	古文書から読み解く尾張徳川家と初代義直	4月～9月	並木昌史
(20)	〃	古文書から読み解く尾張徳川家の歴史	10月～23年3月	〃
(21)	〃	絵本で楽しむ日本の古典	4月～9月	龍澤 彩
(22)	〃	絵画で入門『源氏物語』『平家物語』	10月～23年3月	〃
(23)	〃	尾張徳川家と名古屋・江戸	4月～9月	原 史彦
(24)	〃	尾張徳川家と徳川将軍家	10月～23年3月	〃
(25)	刈谷市総合文化センター	刈谷ふれあいカレッジ市民講座	10月～23年3月	四辻秀紀・小池富雄・原 史彦・吉川美穂・並木昌史・龍澤 彩
(26)	豊田市コンサートホール能楽堂	絵で見てわかる源氏物語	4. 14	龍澤 彩
(27)	皇學館大学	博物館経営・情報論	5. 29	並木昌史
(28)	装道礼法きもの学院		6. 26	〃
(29)	中山道広重美術館	物語でたどる美術 美術でたどる物語	7. 10	龍澤 彩
(30)	早稲田大学	美術史演習 (ゲストスピーカー)	7. 14、1. 12	〃
(31)	本願寺名古屋別院	名古屋別院と尾張家とのかかわり	7. 31	原 史彦
(32)	美術鑑賞グループ潤	名古屋城の歴史と絵画	8. 18	〃
(33)	東生涯学習センター	葵小学校地域ふれあい実践講座	9. 14	小池富雄
(34)	九州国立博物館	CT調査助言・購入候補品の調査	8. 30・31	〃
(35)	密蔵院	名古屋開府400年と密蔵院	10. 3	〃
(36)	京都国立博物館	買取協議会	11. 9	四辻秀紀
(37)	香港中文大学文物館	中国古代漆器研究会シンポジウム	11. 18～22	小池富雄
(38)	東海市立文化センター	市民講座 徳川探訪「尾張の殿様物語」	11. 20、12. 4・11	原史彦
(39)	南山大学人類学博物館	オープン・リサーチ・センター	11. 24	小池富雄
(40)	東生涯学習センター	なごや学 名古屋東区人物物語	12. 10	〃
(41)	東生涯学習センター	なごや学 名古屋東区人物物語	23. 1. 7	原 史彦

(42)	幸田町教育委員会	本光寺文化財調査指導委員会	1. 24	小池富雄
(43)	文化庁文化財部美術学芸課	美術館等運営研究協議会 講師	2. 1・2	加藤啓子
(44)	NHK文化センター	写真家大名・徳川慶勝の幕末維新	2. 5、2. 19	吉川美穂・原 史彦
(45)	愛知県史編さん委員会	文化財部会工芸班会議	3. 14	小池富雄
(46)	佐賀県立美術館	資料評価・調査指導	3. 23	〃
(47)	福岡市美術館	美術資料収集委員会	3. 24	〃

## 17. 職員の委嘱

(1)	愛知県 県史編さん委員会特別調査委員 (漆工史・工芸史)	19. 2. 1～調査終了時	小池富雄
		(1年更新)	
(2)	名古屋東生涯学習センター協議会 協議会委員	22. 7. 20～24. 7. 19	〃
(3)	岡崎市美術博物館 資料収集委員会	20. 4. 1～23. 3. 31	〃
(4)	愛知県 県史編さん委員会特別調査委員 (絵画)	19. 4. 1～調査終了時	吉川美穂
(5)	〃 (古代中世絵画・書道史)	21. 4. 24～調査終了時	四辻秀紀
(6)	財団法人芭蕉翁顕彰会参与	21. 3. 23～	〃
(7)	幸田町教育委員会 本光寺文化財調査指導委員会	21. 12. 17～24. 3. 31	小池富雄
(8)	京都国立博物館陳列品等に関する買取協議会委員	21. 6. 1～23. 5. 31	四辻秀紀
(9)	東京大学史料編纂所特定共同研究員	22. 4. 1～23. 3. 31	原 史彦
(10)	岐阜市 うかいミュージアム運営実施計画策定業務	22. 5. 26～事業完了時	山本泰一
(11)	九州国立博物館 買取評価員	22. 6. 29	小池富雄
(12)	乃村工藝社 うかいミュージアム運営実施計画査定協議会委員	22. 9. 1～実施計画策定時	山本泰一
(13)	丹青研究所 博物館の教育機能に関する調査研究 協力者会議 委員	22. 10. 20～23. 3. 31	加藤啓子
(14)	九州国立博物館 買取評価委員	23. 1. 27	小池富雄
(15)	文化庁 文化財審議会文化財部会	23. 3. 1～4	〃

## 18. 館長講演活動

館長 徳川 義崇

年月日	主催	演題
平成22年 4月 8日	クラブ東海月例会	文化を守る
4月 9日	(社) 日本ディスプレイ 連合会	徳川美術館のあゆみ
4月19日	(財) モラロジー研究所 愛知県女性クラブ	徳川美術館よもやま話
4月23日	愛知製鋼(株) 文化芸術教養倶楽部	尾張徳川家と文化財
5月 8日	栄中日文化センター	文化を守る －「国宝 源氏物語絵巻」を伝えた系譜－
5月20日	YPO名古屋セミナー	文化を守る
6月19日	長野県須坂高校同窓会 愛知支部	文化を守る
7月13日	名古屋中ロータリー クラブ	文化を守る
8月28日	尾張小牧歴史文化振興会	文化を守る
9月25日	南山大学 父母の集い	公開対談「尾張徳川家の殿様のお話」
10月 2日	徳川美術館 開館75周年 記念講演	徳川美術館の75年を振り返って －回顧と展望－
10月 3日	(株)井上(呉服商) 展示即売イベント	遺す・伝える －源氏物語絵巻を例にとって－
10月23日	愛知山車祭り保存協議会	文化を守る
10月31日	秋田屋婦人サークル	尾張徳川家と徳川美術館
12月12日	沖縄県立博物館・美術館	公開対談 「北海道と沖縄と尾張徳川家」
12月16日	(社) 不動産協会中部支部	文化を守る
12月18日	宗次ホール	尾張徳川家と西洋音楽との係り
平成23年 1月28日	名古屋みなと ロータリークラブ	文化を守る
2月9日	国際ロータリー2760地区 東名古屋分区	文化を守る

## 19. 雑誌・報道広報資料作成

- (1) 徳川美術館ガイドブック
- (2) ポスター・ちらし作成 各企画展示ごとに作成

### (3) ニュースレター作成

#### ①企画展プレスプレビュー

王者の華 牡丹、殿様、ECOを考える、大名古屋城展、尾張徳川家の名宝、国宝初音の調度、尾張徳川家の能、尾張徳川家の雛まつり

#### ②記念講演会、土曜講座、能楽講座、古文書入門講座、夏期講座、定期研究発表会 掲載依頼

#### ③名曲講座、定期研究発表会、記念講演会、8月夜間開館、あいち子ども芸術大学2010、新春プレゼント掲載依頼

#### ④親と子の甲冑教室、十二単着付教室、夏休み子ども特別企画参加者募集、香袋づくり教室、ひな御膳 掲載依頼

#### ⑤開館75周年記念式典、土曜子ども教室、親と子の甲冑教室、夏休み子ども特別企画、新指定重要文化財、斎宮女御集、ひな御膳、十二単着実演、来館者600万人記念式典取材願い

#### ⑥特別公開二の丸御殿障壁画、特別公開 「泪の茶杓」

## 20. ホームページの随時更新

## 21. 生徒・学生への教育普及活動・館外出張講座

### (1) 土曜子ども教室

22.4.3～23.3.26 45日実施 子ども 939名・大人407名 合計1,346名参加

毎週土曜日、小中学生を対象に「土曜子ども教室」を実施。一日三回各約60分。美術の紹介、「今月のポイント」(月替わりで収蔵品を紹介)、「体験タイム」(月替わりで大名文化を体験)、常設展展示室での展示解説。

### (2) 夏休み子ども特別企画

名古屋市立小中学校ほかにポスター作成・配布		500枚
「大名古屋城展」 ギャラリー・クイズ	8. 1～8. 31	1,335名
小中学生の歴史教室「名古屋城のひみつ」	〃	1,204名
歴史体験教室「作って遊ぼう貝あわせ」	〃	497名
〃 「親子 戦国変わり兜づくり教室」	8. 7・8	15組60名
名古屋城・城下町ウォーキングツアー	8. 21	30名

### (3) 体験学習受け入れ・出張教室

5月12日・13日実践女子学園中等部修学旅行280名、6月29日日吉小学校6年50名、11月11日桑名市立大山田東小学校70名、1月25日葵小学校5年35名ほか貝あわせ、刀バラバラ、子ども出世すごろくなどの体験後、館内見学のべ669名。分散学習や質問に対応、107団体が来館した。7月9日稲沢大里西小学校6年、9月7日松栄小学校、9月10日瀬戸市祖母懐小学校ほか出張教室を実施。

### 2.2. 中学・高校・大学 職場体験の受け入れ

1月19～21日高校生1名、1月25～27日中学生2名の職場体験を受け入れた。

### 2.3. 留学生のための鑑賞会

23. 2. 12

### 2.4. 小・中学校の先生方のための伝統文化体験プログラムセミナー 22. 8. 3

中学校の部8名、小学校の部15名の参加があった。

### 2.5. 他施設との協力事業

#### (1) 東邦コミュニティカレッジ 共催講座

「畑儀文さんが楽しむドイツ歌曲」

7. 18・25

#### (2) 宗次ホールとの協賛企画

「名古屋開府400年記念特別シリーズ 徳川家の歴史でたどるクラシック音楽」

4. 3、6. 12、7. 24、8. 28、10. 2、11. 28、12. 18

#### (3) ウェスティンナゴヤキャッスルとの共同企画

パネル展示「名古屋開府400年記念 尾張徳川家の歴史」をウェスティンナゴヤキャッスル内ロビーにて開催した。

7. 31～9. 26

#### (4) 名古屋開府400年記念・ミュージアム・トライアングル in nagoya

名古屋市博物館「変革のとき桃山」、名古屋城「武士と玄関 虎の美術」と共同して広告掲出・入館料割引を行い、ミットランド内で三館共同の展示を行った。 9. 25-11. 7

#### (5) 名古屋開府400年名古屋城イベント

名古屋城から割り当てられたブースで、来場者対象に兜・火縄銃体験、貝あわせ、聞香などのイベントを行った。 10. 16・17・23・24



## 26. 学会活動

私立美術館会議 事務局 平成3年より  
第20回 私立美術館会議 23. 3.11開催 於 徳川美術館

## 27. 平成22年度文化庁 美術館・博物館活動基盤整備支援事業 支援金

「徳川美術館 地域密着型「武家文化」普及プログラム—名古屋開府400年を迎えて—」として「夏休み大名古屋城セミナー」、「小中学校の先生のためのプログラムセミナー」、「留学生のための鑑賞会」について、経費支援の申請が認可され、1,216,570円の交付が決定し、実施した。

## 28. 第89回名古屋市文化史教室共催負担金

「夏休み子ども特別企画」について、名古屋市への共催申請が認可され、100,000円の負担金交付が決定した。

## 〔4〕展覧会

### 1. 常設展示(第1～6室)

- |                  |                     |                 |         |
|------------------|---------------------|-----------------|---------|
| (1)大名の生活と文化      | 約1ヶ月毎に展示替           |                 |         |
|                  | 常設展示入場者数(企画展示期間を除く) |                 | 12,009人 |
| (2)特別公開 千利休 泪の茶杓 |                     | 23. 2.25 ～ 3. 6 | 第2室     |

### 2. 企画展示 (第7～9室)

- |   | (会 期)           | (入場者数)  |
|---|-----------------|---------|
| (1)名古屋開府400年徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念春季特別展 王者の華 牡丹<br>(名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催) | 22. 4.10 ～ 5.23 | 32,178人 |
| (2)企画展示 殿様、”ECO”を考える—自然へのまなざし—<br>(日本経済新聞社共催)                     | 5.29 ～ 7.25     | 24,745人 |
| (3)名古屋開府400年徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念特別展 大名古屋城展<br>(朝日新聞社共催)             | 7.31 ～ 9.26     | 29,912人 |

(4)名古屋開府400年徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念秋季特別展 尾張徳川家の名宝 一里帰りの名品を含めて一 (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	10. 2 ~ 11. 7	30,683人
(5)名古屋開府400年徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念特別展 国宝 初音の調度 (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	11.13 ~ 12.12	23,205人
(6)企画展示 尾張徳川家の能 (日本経済新聞社共催)	23. 1. 4 ~ 1.30	10,584人
(7)特別展 尾張徳川家の雛まつり (中日新聞社共催)	2. 5 ~ 4. 3	47,092人
	企画展示入場者数合計	198,399人
	平成22年度総入場者数	210,408人

(8) 特別観覧

	(会 期)	(入場者)
①名香鑑賞会	22. 5. 9 (1日間)	267人
②徳川茶会	22. 10. 10~11. 3(9日間)	3,289人

(9) 蓬左文庫展示室

展示室 1・2	名古屋開府400年徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念春季特別展 王者の華 牡丹 (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	22. 4. 7~ 5. 23
展示室 1・2	名古屋開府400年徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念 家康のまつり 一名古屋東照宮祭礼一	5. 26~ 7. 25
展示室 1・2	名古屋開府400年徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念特別展 大名古屋城展	7. 28~ 9. 26
展示室 1・2	名古屋開府400年徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念秋季特別展 尾張徳川家の名宝 一里帰りの名品を含めて一 (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・文化庁共催)	9. 29~11. 7
展示室 1	名古屋開府400年徳川美術館・蓬左文庫開館75周年記念特別展 尾張徳川家の金銀調度	11. 10~12. 12
展示室 2	源氏物語の世界	〃

展示室 1	和歌の姿 ー詠歌の場ー	23. 1. 4～ 2. 13
展示室 2	尾張の神社 ー新春豆知識ー	〃
展示室 1	ひいなのおせかい	2. 16～ 4. 3
展示室 2	姫たちのえほん	〃

### 3. 他館主催展覧会への所蔵品出陳

	出陳先	展覧会名称	期 間	出陳品
1	三井記念美術館	特別展 「江戸を開いた天下人 徳川家康の遺愛品」	H22. 4. 14 ～6. 20	真珠貝玉箱 一合 等 計23点
2	明治村	明治村茶会	H22. 4. 16～ 4. 17	呉須赤絵扇形香合 一合 等 計16点
3	新宿歴史博物館	特別展 「酒井忠勝と 小浜藩矢来屋敷」	H22. 7. 17～ 9. 19	高麗茶碗 銘 花散里 一口
4	(財) 香雪美術館	秋季企画展 「書の魅力 ー床飾りと ともに」	H22. 9. 18～12. 19	重要美術品 石山切 貫之集下 うくひすの 一幅 等 計 2点
5	韓国国立中央博物館	「高麗仏画大展」	H22. 10. 12～11. 21	阿弥陀八大菩薩像 一幅 等 計 3点
6	名古屋城	名古屋開府400年記念 名古屋城特別展 「武家の美術 虎と玄関」	H22. 9. 25～11. 7	重要美術品 虎図 伝 牧溪筆 一幅 等 計 4点
7	名古屋市博物館	名古屋開府400年記念 特別展 「変革のとき 桃山」	H22. 9. 25～11. 7	重要美術品 太刀 銘 国俊 名物 鳥養国俊 一口 等 計 5点
8	岡山県立美術館	特別展覧会 「岡山 美の回廊」	H22. 10. 8～11. 7	重要美術品 蘆葉達磨図 宮本武蔵 筆 一幅
9	根津美術館	特別展 「南宋の青磁」	H22. 10. 9～11. 14	青磁下蕪形花生 一口 等 計 4点

	出陳先	展覧会名称	期間	出陳品
10	京都国立博物館	特別展覧会 「高僧と袈裟 ころもを 伝えこころを繋ぐ」	H22. 10. 9 ～11. 23	重要文化財 天皇摂関御影 二巻のうち上巻
11	和泉市 久保惣記念 美術館	特別展 「数の美術—数えて楽しむ 東アジアの美術—」	H22. 10. 10～11. 28	純金造帝堯像 一体 等 計 24点
12	五島美術館	開館50周年記念 黄金の茶会	H22. 10. 14～10. 17	重要文化財 純金台子皆具 一具
13	岐阜市歴史博物館	特別展 「洛中洛外図に描かれた 世界」	H22. 10. 22～11. 23	東福門院入内図屏風 六曲一双 等 計 18点
14	彦根城博物館	テーマ展「シリーズ戦国」巻の三 「よみがえる関ヶ原合戦 —関ヶ原合戦図を読む—」	H22. 10. 29～11. 30	陣太鼓 本多忠勝・池田政長 所用 一張 等 計 2点
15	五島美術館	開館50周年記念特別展 「国宝 源氏物語絵巻」	H22. 11. 3～11. 28	国宝 源氏物語絵巻 絵十五面詞二十八面 計四十三面 等 計 2点
16	静岡市美術館	開館記念展〈Ⅱ〉・NHK 静岡放送局開局 八十周年記念 「家康と慶喜 — 徳川家と静岡」	H22. 12. 11 ～H23. 1. 30	三方ヶ原戦役画像 一幅 等 計 10点
17	九州国立博物館	文化交流展示 「海の道、アジアの路」	H22. 12. 22 ～H23. 2. 9	純金葵紋薫物壺 一口 等 計 10点
18	東京都江戸東京 博物館	NHK大河ドラマ特別展 「江」	H23. 1. 2～ 2. 20	枝菊蒔絵香合 東福門院和子所用 一合 等 計 3点
19	愛知県陶磁資料館	企画展 「阿蘭陀焼 憧れのプリン トウェア—海を渡ったヨー ロッパ陶器」	H23. 2. 5～ 3. 27	西洋風景図花生・台 一基
20	松坂屋美術館	開館二十周年・松坂屋創業 四百周年記念 「松坂屋コレクション — 一技を極め、美を装う—」	H23. 3. 5～ 4. 10	撫子形銀簪 一本 等 計40点

## 〔5〕編 集

### 1. 特別展図録(部内)

#### (1) 秋季特別展「尾張徳川家の名宝 里帰りの名品を含めて」

- ・尾張徳川家の名宝ー里帰りの名品・優品をめぐってー 四辻秀紀
- ・尾張徳川家と将軍家の贈答についてー献上および拝領の大名道具ー 山本泰一
- ・図版解説 四辻秀紀・山本泰一・佐藤豊三・小池富雄・原史彦・吉川美穂・並木昌史・龍澤彩

### 2. 金鯨叢書 第37輯

- (1) 【史料紹介】新出史料「前田利長書状 堀秀治宛」「堀家文書」 原 史彦  
「徳川秀忠書状 越前宰相(結城秀康)宛」について
- (2) 《バイユーのタピストリー》と絵巻物ー比較芸術学の試みー 永井繁樹
- (3) 名古屋城二之丸御殿障壁画楽器図に関する一考察 ー修理報告をかねてー 吉川美穂
- (4) シンポジウム「『東山御物』への視覚ー宝物と同朋衆ー」報告

### 3. 尾陽 (第7号)

### 4. 出版協力

『写真家大名・徳川慶勝の幕末維新ー尾張藩主の知られざる決断ー』(NHKプラネット中部編・NHK出版)を徳川林政史研究所とともに監修・刊行した。

## 〔6〕徳川慶勝撮影写真資料の共同調査

徳川慶勝撮影の古写真に関する共同研究のため、徳川林政史研究所と相互の研究を深化させるべく努めた。

## 〔7〕 図 書

### 1. 図 書

『大東急記念文庫蔵 芥子園画伝』（3冊セット、勉誠出版）、『宋元名畫』3冊揃、聚楽社）、『幕末維新大人名事典』（上・下巻、新人物往来社）などの他、『冷泉家時雨亭叢書』（朝日新聞社）、『史料纂集 古記録編』（八木書店）などの継続により、計453冊を購入。また、『尊経閣善本影印集成』（八木書店）、『奈良甲冑師の研究』（吉川弘文館）、『尾州家河内本 源氏物語 第一巻』（八木書店）など計1004冊の寄贈を受けた。

### 2. 雑 誌

『國華』、『佛教芸術』、『美術史学研究』、『文物』、『故宫學術季刊』などの定期購読のほか、計297冊を購入。また、『茶道の研究』、『刀剣美術』、『美術研究』、『MUSEUM』、『茶の湯文化学』ほか、多数の寄贈を受けた。

## 〔8〕 館蔵品コンピューター入力

1. キャプション作成
2. 展示作品リスト（来館者用）作成
3. 調書入力
4. 写真データ入力

## 〔9〕 コンピューターシステム化の促進

文化財管理システムの更新

## [10] 広報活動

### 1. 来館者誘致活動

(1) 団体来館者の利用推進 (平成22年度実績 27,029名)

- ①旅行会社への働きかけ (東京、近畿、北陸、東海地区の大手旅行社・バス会社25社へ働きかけ)
- ②ライオンズクラブの出張例会実施 1クラブ実施
- ③京都信用金庫友の会 2～3月 1,340名来館

(2) 個人来館者の利用推進 (平成22年度実績 183,379名)

- ①鉄道会社 (JR東海、名鉄) へのポスター・チラシによる広報宣伝協力
  - \*企画展示「大名古屋城展」、秋季特別展「尾張徳川家の名宝」特別展「尾張徳川家の雛まつり」
- ②前売券の販売促進
  - \*百貨店友の会 (4店舗) 1,379枚販売 他、チケットぴあ、ローソンチケット、東海四県生協で販売実績有り
- ③鉄道会社主催のウォーキングイベントとタイアップ推進
  - \*「JRさわやかウォーキング」参加者への来館誘致  
23.3.20 実施 実績：50名
- ④近隣地域・施設・組織との連携
  - \*大曽根商店街との連携 (各店舗でひな人形の展示)
  - \*瀬戸市観光協会との雛まつり展の相互PR連携
  - \*フラワードーム2010との相互PR・割引連携 (週末連絡バスの運行)
  - \*名古屋城との相互PR・割引連携
  - \*ウェスティンナゴヤキャッスルとの宿泊セットプラン企画 実績：42名
  - \*はち丸手形 (名古屋城・徳川園とのセット券) の発売 販売実績：2,004枚
  - \*ランの館との共通券発売 販売実績：98枚
- ⑤地下鉄・名城線沿線観光施設(10施設) との連携スタンプラリー実施 7/17～10/17

⑥賛助会・友の会

平成22年度は、賛助会会員のための企画展内覧会を例年通り随時開催した。友の会については平成23年2月に現会員(平成22年度)及び過去会員を中心に入会案内を送付した。

※会員状況 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

賛助会 (家族会員35組中1組は1名増(12,600円増)の1口3名)

会員種類	会員数
個人会員	169件(169口)
家族会員	35件(35口)
法人会員	61件(61口)

友の会 (一般会員416名中9名が半期入会(4,200円)の会員)

会員種類	会員数	内 訳	
		新規	継続
一般会員	416件(416口)	88件	328件
情報会員	45件(45口)	8件	37件



## 2. 大学メンバーシップの加盟校募集活動

平成22年度は増減は無く、平成23年3月31日現在、加盟校は以下の通りである。

愛知大学	愛知学院大学	愛知県立大学	愛知工業大学	愛知産業大学
愛知淑徳大学	桜花学園大学	名古屋短期大学	金城学院大学	椋山女学園大学
中京大学	中部大学	東海学園大学	同朋大学	名古屋大学
名古屋学院大学	名古屋学芸大学・短期大学部	名古屋外国語大学		名古屋芸術大学
名古屋市立大学	名古屋造形芸術大学・短期大学部	南山大学		名城大学

(計23校)

## 3. 休館日及び閉館後等における時間外の利用誘致

### (1) 夜間貸切開館

「日本不整脈学会」による夜間貸切	22. 6. 11
「国際航路協会」による夜間貸切	22. 9. 14
「日本の伝統文化を楽しむ会」による夜間貸切	22. 11. 18

### (2) 夏期夜間延長開館

22. 8. 13～15

## 4. 刊行物・印刷物の作成・配布

### (1) ポスター・パンフレット作成

(徳川美術館パンフレット、土曜子ども教室 ポスター・パンフレット、夏休み子ども特別企画 ポスター )

### (2) 割引券・年賀状・招待券作成

### (3) 優待券作成

### (4) 美術館たより「葵」の作成

第74号 4月1日発行

エッセイ「文化財保存・伝承の重要性」 名古屋ボストン美術館館長 馬場駿吉

第75号 7月 1日発行

エッセイ「三英傑が生んだ名古屋城天守」 広島大学文学部教授 三浦正幸

第76号 10月 1日発行

エッセイ「徳川美術館開館75周年を振り返って」 館長 徳川義崇

第77号 1月 1日発行

## 5. プレスレビュー・取材

	年月日	新聞	放送(ラジオ)
(1)王者の華 牡丹	22. 4. 9	2	1
(2)端午の節供 特別企画「親と子の甲冑教室」	5. 5	2	2
(3)新指定重要文化財齋宮女御集	5.21	1	0
(4)殿様、ecoを考える	7.17	2	1
(5)特別公開 二の丸御殿障壁画	7.20	5	4
(6)大名古屋城展	7.30	2	3
(7)尾張徳川家の名宝・開館75周年記念式典	10. 1	6	1
(8)国宝 初音の調度	11.12	3	3
(9)来館者600万人記念式典	11.20	1	1
(10)尾張徳川家の能	1. 4	2	2
(11)尾張徳川家の雛まつり・ひな御膳	2. 4	4	3
(12)特別公開 泪の茶杓	2.27	1	0
(13)十二単着付教室	2.26	1	2

## 6. 雑誌PR(掲載誌) 各企画展を2ヶ月前にPR。

- ・美術関係 芸術新潮 新美術新聞 ほか
- ・婦人雑誌 和楽 家庭画報 婦人画報 ほか
- ・歴史関係 歴史研究 ほか
- ・その他 なごみ 茶道雑誌 ぴあ サライ ほか

## 7. 広告掲載

中日新聞社1件、朝日新聞社10件、日本経済新聞社2件、産経新聞1件、御園座パンフレット、キラッ都ナゴヤ、名古屋アートニュース、名古屋市交通局(地下鉄)、名鉄・JR東海の車内ポスター吊り広告、地下鉄構内ポスター掲示、日本通運名古屋支店屋外広告

## 8. ボランティア業務の運営

(1) 登録者数 301名

(2) 展示解説

①平日の解説

②土・日・祝日の展示解説

③土曜子ども教室

④申し込み団体への解説

- ・ 概要解説 94件(延べ人数4,553名)
- ・ 体験講座(聞香・貝あわせ)－日本の伝統文化にふれる－ 30件(延べ人数 761名)

(3) 行事

懇親会 23. 3. 5 150名

(4) 研修

①定光寺見学 22. 4. 1

②マナー研修 22. 4. 10・11・13

(5) 第8期の募集・養成

(6) その他の活動

- ①学芸部・企画情報部業務支援 1名
- ②特別専任ボランティア 7名
- ③講座等題字作成 1名
- ④館内生け花 1名

## 〔11〕管 理

平成22年度は以下のような建物・設備の営繕工事を行った。

- 本館玄関降棟瓦修繕工事
- 屋上空冷チラー1号機更新工事
- 展示準備室ファンコイルユニット更新工事
- 南棟地下中央監視室 電灯盤漏電警報設備設置
- 中央トイレ改修工事
- 館内映像監視装置設置

## 〔12〕第19回徳川美術館運営懇話会

- 開 催 日 平成22年10月19日（火）午後4時00分から4時30分
- 開催場所 徳川美術館 貴賓室
- 出席委員 名古屋市長 河村たかし氏、 社団法人中部経済連合会会長 川口文夫氏、  
名古屋商工会議所会頭 岡田邦彦氏、 名古屋鉄道株式会社相談役 木村操氏、  
中部電力株式会社会長 三田敏雄氏、 財団法人徳川黎明会会長・徳川美術館  
館長 徳川義崇（6名）
- 欠席委員 愛知県知事 神田真秋氏、 トヨタ自動車株式会社最高顧問 豊田英二氏、  
株式会社三菱東京UFJ銀行常任顧問 佐々和夫氏（3名）
- 議事進行 議題1 委員交代  
三菱東京UFJ銀行 西垣 覚氏退任に伴い佐々和夫氏の新委員選任が  
了承された。
- 議題2 徳川美術館の運営報告等  
副館長が平成21年度の事業・収支状況・施設管理状況・館関係情報  
の報告を行った。 ついで、厳しい決算状況が続く中、補修事業の  
ための募金活動の方法、タイアップ事業の推進などについて質疑応答  
を行った。

## 〔13〕開館75周年記念式典

開館75周年記念式典が10月1日（金）午後3時より徳川美術館講堂にて開催された。来賓として愛知県知事 神田真秋、名古屋市長 河村たかし、中部電力㈱会長 三田俊雄、五島美術館館長 池田泰久以上四氏よりご祝辞をいただいた。出席者は564名であった。

## 〔14〕徳川園調整会議、企画・業務部会への参加

下記のように開催され、職員が適宜出席した。

### 1. 徳川園調整会議

開催日時 平成23年1月28日（金）午前10時30分～11時30分

- 議 題
- ・各施設の本年度実績と来年度計画
  - ・情報の共有化
  - ・情報発信の現状と課題
  - ・観客誘致のための催事
  - ・徳川園寄贈及び開園80周年に向けての取り組み

### 2. 徳川園企画・業務部会

#### 第1回

開催日時 平成22年8月20日（金）午後3時～5時

- 議 題
- ・現状実績と見込み
  - ・今後の催事予定
  - ・現状課題について

#### 第2回

開催日時 平成22年12月10日（金）午前10時30分～12時

- 議 題
- ・現状実績と見込み
  - ・今後の催事予定と共催のあり方について
  - ・現状課題について
  - ・施設間の協力体制について
  - ・「文化財防火デー」について

## 〔15〕 「国宝重要文化財等保存整備費補助金」

平成21年度交付分として、平成22年4月23日付けで名古屋市より281,000円、4月27日付けで国庫より2,010,000円、5月31日付けで愛知県より281,000円、計2,572,000円が支給された。  
これを受けて、下記の文化財の修理を行った。

〔対象文化財名〕 重要文化財辻が花染小袖 五領のうち二領  
(淡浅葱地葵紋付楓重文辻が花小袖、 浅葱地葵紋付扇地紙文辻が花染小袖)

## 〔16〕 徳川美術館拡充整備基金

博物館法による「特定公益増進法人」の認定（平成21年2月9日付）を受け、平成21年2月9日より平成23年2月8日までの2年間、総額2,500万円を目標に第4回徳川美術館拡充整備基金の寄附金の募集を実施した。

### 1. 寄附金受付業務

寄附金額（平成21年2月9日より平成23年2月8日まで）

平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

14,490,000 円 法人16件（37.1口）・個人188件（1,078口）

参考

平成20年度 (21. 2. 9～3. 31)	平成21年度 (21. 4. 1～22. 3. 31)	平成22年度 (22. 4. 1～23. 2. 8)
法人1件 300,000 円	法人 19件 3,300,000円	法人 16件 3,710,000円
個人7件 180,000 円	個人305件 7,935,000円	個人 188件 10,780,000円
計 480,000 円	計 11,235,000円	計 14,490,000円
寄附金受領額計		26,205,000円

### 2. 大口寄附者に対する感謝状の贈呈（平成22年度）

（個人は30口以上、法人は10口以上）敬称略

法人会員 (株)カトウスタジオ

個人会員 筒井宣政 筒井陽子 廣瀬和子 笥 日出子 早川常彦 筒井康弘  
筒井奈美 小林 喬 大島喜十郎 渡邊次郎 後藤宗理

### 3. 寄附金の使途

平成22年度は下記の通り使用した。

〔文化財保存事業〕

菊折枝蒔絵乗物 担棒

一本 修理

文化財管理システム更新事業

# 徳川林政史研究所

## [1] 調査・研究

### 1. 研究

( 課 題 )	( 担 当 )	( 開 始 )
①近世材木商の研究	所 長 竹内 誠	平成11年4月
②江戸の園地政策	副 所 長 深井 雅海	〃 18年4月
③江戸～明治期における林野行政と地域社会	主任研究員 太田 尚宏	〃 18年4月
④近世大名家における緑化政策の展開	研 究 員 白根 孝胤	〃 20年4月
⑤近代山村史の研究	特任研究員・筑波大学教授 加藤 衛拓	〃 20年4月
⑥秋田藩林政史	秋田工業高等専門学校教授 脇野 博	〃 20年4月
⑦尾張藩享保林政改革と木曾山の生活	特任研究員 大崎 晃	〃 21年4月
⑧幕府直轄林の植林政策に関する研究	非常勤研究員 田原 昇	〃 22年4月
⑨筏下げと村落	〃 栗原 健一	〃 22年4月
⑩尾張藩における鷹場支配の研究	非常勤研究生 山崎 久登	〃 22年4月
⑪阿仁銅山における森林資源の利用に関する研究	〃 芳賀 和樹	〃 22年4月

### 2. 科学研究費補助金による研究

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会から科学研究費補助金を受け、下記の研究を実施した。

#### ①特定奨励費

交 付 機 関 文部科学省  
研究事業名 近世・近代日本における林政史の調査研究・普及活動に関する事業  
申 請 者 (財)徳川黎明会徳川林政史研究所

#### ②若手研究 (B)

交 付 機 関 文部科学省  
課 題 番 号 20720178  
研究課題名 幕臣の「御雇」任用制に関する研究－近代雇用システムへの展望として－  
研究代表者名 田原 昇 (非常勤研究員)

#### ③基盤研究 (B)

交 付 機 関 独立行政法人日本学術振興会  
課 題 番 号 20360285  
研究課題名 江戸藩邸作事における建設マネジメント手法に関する文理統合的研究  
研究分担者名 渋谷葉子 (非常勤研究員)



④基盤研究 (C)  
 交付機関 独立行政法人日本学術振興会  
 課題番号 21520692  
 研究課題名 丹鶴城旧幕府史料の研究  
 研究分担者名 藤田英昭 (非常勤研究員)

⑤基盤研究 (C)  
 交付機関 独立行政法人日本学術振興会  
 課題番号 21520692  
 研究課題名 丹鶴城旧幕府史料の研究  
 研究分担者名 小宮山敏和 (非常勤研究生)

### 3. 史料調査

- ①自主事業による史料調査
- |                           |     |                    |
|---------------------------|-----|--------------------|
| 八雲産業(株)八雲事業所所蔵史料調査 (受託事業) | 第1回 | H22. 7. 13～ 7. 16  |
| 〃                         | 第2回 | H22. 10. 20～10. 23 |
- ②科学研究費補助金 (特定奨励費) 補助事業による史料調査
- |                |     |                    |
|----------------|-----|--------------------|
| 森林管理史アーカイブズ調査  |     |                    |
| 秋田県立公文書館所蔵史料調査 | 第1回 | H22. 7. 3～ 7. 6    |
| 秋田県立公文書館所蔵史料調査 | 第2回 | H22. 11. 21～11. 24 |
| 岐阜県歴史資料館所蔵史料調査 |     | H23. 3. 22～ 3. 24  |

### 4. 研究会開催

- ① H22. 10. 18 於 徳川林政史研究所
- |   |       |
|---|-------|
| 近世阿仁銅山炭木山における御用炭生産—直釜の実態とその変容—              | 芳賀 和樹 |
| 近世中期における御用炭請負村の「御救」と備荒貯蓄<br>—武蔵国秩父郡大野村を事例に— | 栗原 健一 |
- ②H22. 11. 1 於 徳川林政史研究所
- |  |       |
|--|-------|
| 幕末期における尾張藩の御留川支配と御川守                       | 山崎 久登 |
| 木曾谷における村控山林の形成と展開<br>—旗本馬場家旧領山林「三貫文山」を事例に— | 田原 昇  |
- 〃 第2回 H22. 10. 20～10. 23

## [2] 若手研究者の育成

### 1. 研究会開催

H22. 8. 6	於 豊島区勤労福祉会館 第7会議室	
将軍徳川綱吉の御成一元禄15年加賀藩前田家本郷邸御成を事例に一		清水 聡
江戸廻り地域の変容と天保改革		宮坂 新
正しい『寛政譜』の使い方		田原 昇
幕府・朝廷の架け橋 徳川慶勝の幕末		白根 孝胤
慶勝の決断一尾張藩の「勤王誘引」活動一		上野 恵
維新时期の社会情勢と八雲開拓		藤田 英昭

## [3] 編集・刊行

### 1. 「研究紀要」第44号 寄贈・頒布業務

印刷部数 700部 内、寄贈・交換 533冊 頒布 55冊

### 2. 「研究紀要」第45号 編集

①伊勢遷宮用材の伐木・運材事業と山方村々（上）	太田 尚宏
②木曾谷における旧領主控山林の成立と展開	田原 昇
③近世後期木曾山埜の村における構造変化	大崎 晃
④近世阿仁銅山炭木山における御用炭生産	芳賀 和樹
⑤東北森林管理局所蔵史料の構成と特徴	成田 雅美
⑥近世中期における御用炭請負山村の食糧確保	栗原 健一
⑦幕末期名古屋周辺の御留川支配と御川守	山崎 久登
⑧明治初年における徳川慶勝の動向と撮影写真	白根 孝胤
⑨（研究ノート） 一九世紀秋田藩林政と近代の秋田杉	脇野 博

## [4] 史料の収集整理

### 1. 所蔵史料の整理・データベース作成

- ① 尾張徳川家文書（尾四）の再整理を継続し、目録カード作成およびデータ入力を行った（299点）。
- ② 石河家文書の目録カードを作成し、データ入力を行った（608点）。
- ③ 松原家文書の整理を継続し、目録カードを作成した（1,208点）。
- ④ 蟹江山口家文書の目録細目カードを作成した（300件）。
- ⑤ 蜂須賀家文書の目録細目カード作成およびデータ入力を行った（200件）。
- ⑥ 徳川林政史研究所収集絵図の目録作成を行った（50件）。
- ⑧ 村絵図データベースを作成・完了した（4,050件）。

### 2. 研究用史料の写真撮影

原史料の保全および研究のため、以下の史料群に関する写真撮影を実施した。

- ① 所蔵史料（旧蓬左43-1「進饌要覧大全」他 763コマ）。
- ② 秋田県公文書館所蔵史料（デジタルデータ13,500コマ）。
- ③ 岐阜県歴史資料館所蔵史料（デジタルデータ2,800コマ）。

### 3. 所蔵史料のデジタル化

- ① ガラス板古写真の画像解析および保存のため、デジタル化を行った（6点6カット）。
- ② 研究の便を図ると共に、今後の情報公開などに活用するため所蔵史料35mmフィルムのデジタル化を行った（「御日記 公編」「留記」「礼物軌式」他、11,244コマ）。

## [5] 所蔵史料の目録刊行

1. 尾張徳川家文書目録（七）を研究紀要第45号に収録刊行した。
2. 石河家文書目録（六）を研究紀要第45号に収録刊行した。

## [6] 教育・普及

1. 徳川林政史研究所公開講座	徳川林政史研究所・豊島区教育委員会共催		
(内 容)	(年 月 日)	(講 師)	(参加者数)
① 林政史特別講座 江戸時代における林政の特質	H22. 9. 2	太田 尚宏	105名
② 江戸の豪商・紀文と奈良茂	9. 9	竹内 誠	111名
③ 浅野内匠頭刃傷事件	9. 16	深井 雅海	102名
④ 御三家家老の格式と将軍家	9. 22	白根 孝胤	100名
⑤ 名門大名の変死事件と大身旗本による検使	9. 30	田原 昇	100名

### 2. 徳川美術館主催「徳川林政史研究所 古文書入門講座」に講師として参加した。

(内 容)	(年 月 日)	(講 師)
① 幕末・維新の人間模様－高須四兄弟－	H22. 6. 12	竹内 誠
② 文久の幕政改革	6. 19	深井 雅海
③ 将軍上洛と徳川慶勝(1)	6. 26	白根 孝胤
④       "          (2)	7. 3	"
⑤ 将軍不在の江戸－風聞書にみる幕末の世相－	7. 10	太田 尚宏
⑥ 知られざる十五代徳川茂徳の軌跡	7. 17	"

### 3. 公開講座 「維新の動乱から八雲開拓へ－時代を駆け抜けた尾張徳川家－」

徳川林政史研究所・八雲産業(株)共催  
 H22. 8. 21 於 はぴあ八雲コミセンホール  
 (北海道八雲町)  
 参加者250名

① 徳川慶勝の肖像	太田 尚宏
② 幕府・朝廷の架け橋 徳川慶勝の幕末	白根 孝胤
③ 慶勝の決断－尾張藩の「勤王誘引」活動－	上野 恵
④ 維新时期の社会情勢と八雲開拓	藤田 英昭

### 4. 公開講座の成果刊行

平成19年度に実施した第8回「徳川林政史研究所公開講座」の成果をまとめた徳川林政史研究所監修『江戸時代の古文書を読む－幕末の動乱－』（東京堂出版）を刊行した

5. 講演・講座

演 目	主 催 者 等	年月日	担 当
江戸に学ぶ環境保全	東京ロータリークラブ	H22. 5. 19	竹内 誠
これからの博物館の 任務と課題	長野県博物館協会総会	5. 26	〃
江戸伝統文化に学ぶ	全国連合退職校長会	6. 2	〃
名古屋の幕末と明治維新	名古屋商工会議所	6. 15	〃
江戸の暮らしと行政	千葉県市長会・町村長会	7. 13	〃
国際観光と交流文化	文教大学国際学部創立20周年記念	7. 14	〃
江戸城を語る	日本工業倶楽部	10. 7	〃
江戸の暮らしに学ぶ 「までい」	福島県飯舘村文化講演会	10. 17	〃
江戸の社会と文化に学ぶ 教育の在り方	全国私立学校審議会連合会総会	10. 22	〃
江戸の暮らしに学ぶ	内外情勢調査会「愛知県豊田支部」	10. 26	〃
素晴らしき江戸の女性たち	西日本文化協会（福岡市）	10. 29	〃
江戸の海外情報と出版	第21回国民文化祭シンポジウム （岡山県）	11. 6	〃
幕末の江戸から学ぶ今の東京	東京都管理職OB交友会	11. 9	〃
外国人が見た徳川日本	東京経済大学学術講演会	11. 20	〃
八代将軍吉宗と江戸の町	関東甲信地区臨床検査技師会	H23. 2. 5	〃
江戸の文化と教育から 学ぶこと	日本教育会群馬支部総会	2. 12	〃
江戸の子どもと教育	総合初等教育研究所総会	2. 19	〃
江戸の愉しみ	青山学院大学オープンカレッジ	3. 1	〃
松平定信政権成立の裏事情	神奈川県土曜古文書会	H22. 5. 22	深井雅海
江戸城内の儀礼	新宿歴史博物館江戸城講座	5. 30	〃
附家老についてー尾張藩附家 老の格式を中心にー	第2回附家老サミット（犬山市）	10. 2	〃
伊勢の式年遷宮用材と尾張藩	千早地域文化創造館 「千早グリーンカレッジ」	H22. 9. 7	太田尚宏
飛騨国御用材をめぐる攻防戦	千早地域文化創造館 「千早グリーンカレッジ」	9. 14	〃
江戸時代の林政と林業技術	奥多摩山しごとの会 講演会	H23. 2. 26	〃
御三家と付家老	朝日カルチャーセンター・横浜 朝日JTB交流 文化塾 「新視点・日本の歴史 18世紀」第7回	H22. 6. 19	白根孝胤
激動の幕末と徳川慶勝	NHK名古屋文化センター 「写真家大名・徳川慶勝の幕末維新」 第1回	H23. 1. 29	〃

## 6. 教育機関等への協力

通常の史料閲覧業務の他、下記の調査・見学に協力した。

- ① 住友史料館の館員2名の史料公開準備のための施設見学を受け入れた。 H22. 10. 20
- ② 学習院大学「博物館実習」クラス（学芸員資格取得課程）の学外授業として担当教師の付き添いのもと学生6名の施設見学・史料閲覧を受け入れた。 H22. 10. 22

## 7. 案内パンフレットの作成

- ① 閲覧者向け案内パンフレット(A4判二つ折り)平成22年度版を作成した。

## 8. ホームページの作成・公開

徳川林政史研究所ホームページを更新し、研究紀要掲載論文や史料目録の閲覧機能を強化して、利用者の便宜を図った。

## 9. 部外出講

- |          |          |    |       |
|----------|----------|----|-------|
| ① 昭和女子大学 | 日本近世史特論  | 通年 | 太田 尚宏 |
| ② 〃      | 歴史文化研究ⅠB | 通年 | 〃     |
| ③ 聖心女子大学 | 日本文化史Ⅱ   | 後期 | 白根 孝胤 |

## [7] 徳川美術館との連携

### 1. 展覧会への史料出陳

展覧会名称	会 期	出陳史料名
「殿様、ecoを考える」展	H22. 5. 29 ～ 7. 25	「敬公実録」等 53件
「大名古屋城」展	H22. 7. 28. ～ 9. 26	「慶勝肖像」等 49件

### 2. 研究協力

徳川慶勝撮影の古写真に関する共同研究をはじめ、徳川美術館学芸員と密接に連絡をとり合い、相互の研究を深化させるべく努めた。

### 3. 出版協力

徳川黎明会監修『写真家大名・徳川慶勝の幕末維新―尾張藩主の知られざる決断―』（NHKプラネット中部編・NHK出版）を刊行した。

## [8] 図書の収集・整理

### 1. 図書整理

① 昨年度に引き続き図書・雑誌のコンピュータ入力を進め、新着図書601冊に対し、ラベル貼付、並びに入力作業を行なった。

### 2. 図書の購入・受贈

① 図書は『幕末維新大人名事典 上巻』等187冊を購入。その他寄贈された図書414冊。

② 雑誌は『歴史学研究』等190冊を購入。その他寄贈された雑誌547冊。

## [9] 閲覧・複写・出陳・レファレンス業務

### 1. 閲覧

本研究所は約7万8000点の歴史資料(旧蓬左文庫所蔵史料・尾張徳川家文書・旧名古屋税務監督局所蔵史料・旧愛知県庁所蔵史料・写真資料など)を所蔵し、閲覧日を設けて定期的に所外研究者に対する閲覧の便宜を図っている。本年度の閲覧許可件数は47件、延べ閲覧者数537人に上った。

### 2. 史料複写

本研究所史料の複写申し込み件数は、本年度は107件であった。

うち、林政史研究所にて直接受け付けたのは102件、

愛知県図書館にて閲覧許可している紙焼史料に対する複写申請は0件、

愛知県公文書館 // 5件

であった。

この他、蓬左文庫で受け付けた二次複写申請は2件であった。

### 3. 所蔵史料の出陳

出陳先	展覧会名称	会期	出陳品
名古屋市博物館	「伊勢神宮と東海のまつり」展	H22. 4. 13 ～ 6. 11	「御材木川狩之図」(全10点)のうち 計1件 2点
一宮市博物館	「木曾川をめぐる人と文化」展	H22. 9. 27 ～12. 1	「葉栗郡黒岩村絵図」他 計11件 12点
練馬区立石神井公園ふるさと文化館	「御・鷹・場-徳川将軍家の鷹狩」展	H22. 11. 6 ～H23. 1. 18	「御日記」(寛政6年上・中・下) 計1件 3冊
(財)アイヌ文化振興研究推進機構	「アイヌ-美を求める心」展	H22. 9. 16 ～ 1. 18	復元動画フィルムデジタルデータ「昭和5年熊狩」1点

### [10] 補助金関係

平成22年度は以下のように科学研究費補助金の交付を受け、申請・報告事務と経費管理事務を行った。

- ①特定奨励費 申請者 (財)徳川黎明会徳川林政史研究所  
 研究事業名 近世・近代日本における林政史の  
 調査研究・普及活動に関する事業  
 交付決定日 平成22年6月18日  
 交付金額 7,100,000円  
 交付機関 文部科学省
- ②若手研究B 研究代表者 田原昇  
 研究課題名 幕臣の「御雇」任用制に関する研究  
 -近代雇用システムへの展望として-  
 交付決定日 平成22年6月22日  
 交付金額 650,000円(直接経費500,000円 間接経費150,000円)  
 交付機関 文部科学省



- ③基盤研究B 研究分担者 渋谷葉子  
研究課題名 江戸藩邸作事における建設マネジメント手法に関する  
文理総合的研究  
交付決定日 平成22年5月25日  
交付金額 780,000円（直接経費600,000円 間接経費180,000円）  
交付機関 独立行政法人日本学術振興会
- ④基盤研究C 研究分担者 藤田英昭  
研究課題名 丹鶴城旧幕府史料の研究  
交付決定日 平成22年6月22日  
交付金額 208,000円（直接経費160,000円 間接経費48,000円）  
交付機関 独立行政法人日本学術振興会
- ⑤基盤研究C 研究分担者 小宮山敏和  
研究課題名 丹鶴城旧幕府史料の研究  
交付決定日 平成22年6月22日  
交付金額 208,000円（直接経費160,000円 間接経費48,000円）  
交付機関 独立行政法人日本学術振興会
- ⑥基盤研究C 研究代表者 小池富雄（（財）徳川黎明会徳川美術館）  
研究課題名 国宝「初音の調度」の総合的研究－技法・意匠を中心に－  
交付決定日 平成22年6月9日  
交付金額 1,040,000円（直接経費800,000円 間接経費240,000円）  
交付機関 文部科学省

## [11] 事業評価委員会

平成23年3月7日、外部委員による事業評価委員会が開催され、林政史研究所の平成22年度事業について評価・講評を受けた。

## [12] 徳川記念財団への協力

本研究所では受託史料として、徳川宗家（旧将軍家）に伝来した史料 約5130点を保管しており、これら伝来品の活用を図る目的で設立された徳川記念財団が調査・展示などで保管史料を利用する際には、史料出納をはじめ、調査への助言、閲覧室・写真撮影場所の提供、貸し出しの立ち会い等の協力を行っている。

平成22年度は徳川記念財団が実施した保管史料のデータベース化作業及び展示事業3件について、協力した。

史料名（徳川記念財団所蔵）	期間	目的
「（孝明天皇宸翰）」他、 徳川宗家文書第一部 第1-1～第383（史料保存箱12箱）	H22. 4. 19 ～ 継続中	データベース作成
「清水宮内卿婚礼之節御意之振」等7点	H22. 9. 29. ～ H22. 11. 18	展示
「館林殿鷹場練間上使留」1冊	H22. 11. 10 ～ H23. 1. 19	展示
「御年譜」第5巻 1点	H22. 11. 10 ～ 継続中	展示

## [13] 設備管理

建物付属設備の営繕工事を以下のように行った。

1. 屋上冷房装置電気配線改修工事
2. 屋上防水工事

[14] 備品購入 ノートパソコン Panasonic Lets Note CF-S10AYPDR 1台（特定奨励費）

### Ⅲ. 収益事業

#### 総務部

##### 〔1〕住宅賃貸

外国人向け住宅6棟の賃貸を行った。

#### 徳川美術館

##### 〔1〕ミュージアムショップの運営・充実

1. 各展覧会に即した商品陳列等、ショップ内のディスプレイを企画・工夫した。
2. ホームページ掲載などにより、ショップの案内及び商品の紹介を行った。
3. 新商品の開発を行った。（タンブラー、クリアファイル、付箋等）